

項目	内容
名称	ヨーロッパナナカマド、オウシュウナナカマド [英]Mountain Ash、Rowan、Eberesche、European Moutain-Ash [学名]Sorbus aucuparia L.、Pyrus aucuparia
概要	ヨーロッパナナカマドは、北半球全体の森林地帯に分布するバラ科の落葉樹。高さ12～18 m程度に生長する。主に果実が用いられ、ジャムなどに利用されることもある。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・フラボノイド類、パラソルビン酸、青酸配糖体、フルーツ酸 (リンゴ酸、酒石酸など)、タンニン、ビタミンCなどを含む (33) (PMID:18635332)。 ・生の果実に含まれるパラソルビン酸は局所刺激を起こす可能性があるが、乾燥により部分的に分解し、調理により完全に分解する (58)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・花序、葉、果実中のフラボノイド類をHPLC法にて分析した報告がある (PMID:18635332)。
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (58) The Complete German Commission E Monographs (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:18635332) J Pharm Biomed Anal. 2008 Nov 4;48(3):629-35.	